

令和2年度第1回石巻地域産業人材育成・定着推進会議

参加者発言要旨

開催日時：令和2年6月19日（金）午後2時～午後4時

開催場所：宮城県石巻合同庁舎201・202会議室

1 会議の趣旨

石巻地域の課題となっている「人材育成・定着」に関連する議題について、産業・教育・行政（石巻地域産業人材育成プラットフォーム構成機関及び管内高等学校）の実務担当者で情報共有及び有効な取組内容等について意見交換を行い、人材育成・定着に向けた取組の推進を図るもの。

2 出席者

【産業】

石巻商工会議所	地域・人づくり支援課長	阿部 準一
東松島市商工会	副参事	高橋 広史

【教育】

石巻専修大学	事務部事務課長	高橋 郁雄
	事務課長補佐	猪瀬 寿人
宮城県石巻商業高等学校	教諭	志茂 寿朗
宮城県石巻北高等学校	就職支援担当教員	佐々木 英一
宮城県石巻北高等学校飯野川校	教諭	大橋 孝幸
宮城県水産高等学校	教諭	高橋 昭二
宮城県石巻工業高等学校	教諭	荒井 章展
宮城県石巻西高等学校	教諭	小井土 光平
宮城県東松島高等学校	教諭	磯部 洋
石巻市立桜坂高等学校	教諭	遠藤 則靖
宮城県立支援学校女川高等学園	教諭	房間 一樹
宮城県立石巻高等技術専門校	副校長	高嶋 芳紀
宮城県石巻北高等学校飯野川校， 宮城県東松島高等学校 連携コーディネーター		本木 由紀子
宮城県石巻商業高等学校， 宮城県水産高等学校 連携コーディネーター		西塚 久良

【行政機関】

石巻公共職業安定所	統括職業指導官	笹原 純恵
石巻市産業部商工課	主任主事	村上 伸介

東松島市産業部	商工観光課長	難波 和幸
	商工観光課 主査	千葉 芳裕
女川町産業振興課	商工労働係 主幹	小松 純
宮城県東部教育事務所	次長（社会教育主事）	飯川 弘芳

【オブザーバー】

一般社団法人みやぎ工業会	ものづくり企業コーディネーター	飯盛 良拓
宮城県経済商工観光部産業人材対策課企画班	技術主幹（副班長）	高橋 保幸
教育庁高校教育課キャリア教育班	主幹（指導主事）	伊藤 裕之

【事務局】

宮城県東部地方振興事務所地方振興部		
	商工・振興第一班 次長兼企画員（班長）	渥美 亨
	技術主査（副班長）	木村 俊太
	主査	清水 陽介

3 参加者発言要旨

（1）開会

■事務局（宮城県東部地方振興事務所）

今回会議を開催した目的について説明します。

1点目は、新型コロナウイルス感染症流行の影響による現状と課題の共有及び同影響による管内学生の内定取消しに対して緊急的な支援が必要か認識を共有すること。

2点目は、急速な人口減少が見込まれている中で、中長期的に石巻地域産業をどのように維持・継続すればよいか今のうちからその対策を講じる必要があると考えているため、石巻地域産業人材育成プラットフォームの部会である石巻地域産業人材育成・定着推進会議を課題解決の議論の場として実践的な対策を講じていきたいこと。

以上2点の目的により開催することとなった。

第1回目の会議としては、産業人材育成に関する施策について情報共有した上で、同じような施策を共同で実施すること等、効率化を図ることや新型コロナウイルス感染症流行の影響による課題に対して新たな施策を検討すること等、この場で議論していきたい。協力よろしくお願いします。

（2）報告

行政機関（国）の新型コロナウイルス感染症の影響に関する情報について

■石巻公共職業安定所

「ハローワーク石巻管内の雇用情勢」について

・4月時点において有効求人倍率の方が1.46倍、前年同月差が-0.14ポイントと下

がっており、前月差でもマイナス0.19ポイント下がっているということで求人がかなり下がってきているような状況。

- ・有効求人倍率は1.46倍となっているが、有効求職者数が2,947人で、前年同月比マイナス9.1%、296人減となっているので、実際数字で見る印象に比べ、かなり下がっている。
- ・有効求人数は4,302人となっており、前年同月比でマイナス17%、約880人の減。前月比はマイナス9.8%で、前月から468人減っている。
- ・有効求職者数の前月比はプラス1.7%で、これは3月末の退職者の求人が増えてくるため、4月5月は求職者が増えてくる。
- ・今年の1月から徐々に求人倍率が下がってきており、景気の方と合わせて、今回コロナの影響はかなり出てきているのではないかと思われる。

令和2年3月新規高等学校卒業者の職業別・規模別求人受理状況及び年度別・月別・就職決定（内定）状況

- ・令和2年3月卒業生が1,632人。そのうち、進学希望者が1,107人、就職希望者が579人となった。
- ・女川、石巻支援学校2校を除くと卒業生数1,574人。進学希望者が1,106人、就職希望者が547人だった。
- ・今回就職が5月末時点で決まっていなかった生徒は、管内では5人となっており、支援学校を含めない就職率は、99.4%の就職内定率となっている。支援学校も含めると98.1%。
- ・過去から比較してもかなり高い内定率となっている。しかし、新型コロナウイルスの影響で、就職してからすぐに休業に入っているというような報告が何件かある。また、内定取消しは管内ではなかったが、自宅待機となった者には雇用調整助成金を活用して休業補償しているとの報告があった。
- ・今年の学卒求人については6月1日から開始しており、第2週までの当所受付状況は、79社、100件で261人となっている。
- ・昨年は66社、91件、233人となっており、今年の方が逆に少し多い。要因としては求人受理の関係で、新型コロナウイルスの影響により窓口受付をせず、FAXで対応しているため、窓口作業が無い分、求人データ入力が早くできており、件数が少し多めに出ている。そのため、昨年と変わっている訳ではない。
- ・産業別では、サービス業の求人が減少している。ただし、石巻管内は製造業が主流になっており、求人に減少傾向は現状ではないように見える。ただし、6月末にならないと、まず第一段の数というのが確定しないので、まだどのようになるかわからない。
- ・宮城県全体の学卒求人では32%の減。特に仙台は昨年、現時点で3,360人の求人があったが、今年は2,079人となっており、38.4%の減となっている。県内でも新型コロナウイルスの影響がかなりあるのではないかと思われる。

- ・県内の新型コロナウイルスの影響では特に宿泊業、飲食サービス業で求人が減っており、同業種では雇用調整助成金の申請が増えている。
- ・今後の課題としては、オンライン対応の採用面接となる企業が出てくることが考えられ、学校側と密に連携しながら円滑な就職について対応していきたい。
- ・今年度も計画していた7月の合同企業説明会及び進路指導の先生方との懇談会については中止となった。代替案として、WEBで企業の動画配信を予定している。
- ・採用選考開始期日等の変更について、厚生労働省から6月11日にプレスリリースがあった。出願書類の提出や選考・内定開始等が全体的に1月後倒しとなった。そのため、例年10月に実施している合同就職面接会については1月後倒しの11月に実施できないか現在検討中である。

◎質疑応答

一般社団法人みやぎ工業会 飯盛コーディネーター

高校生のためのWEBによる動画配信だが、企業の申込み、動画制作まで非常に短いスケジュールとなっている。このスケジュールで進めていくのか。

石巻公共職業安定所

対応が遅くなってしまうと生徒の就職活動に影響するため、このようなスケジュールとなっている。この取組が正式に決まったのが今週。当所としても早急に準備をしている。

スケジュールについてはさらに短くなる可能性がある。当所から労働局に13日までに掲載企業を報告する予定。石巻管内は50社を想定しており、YouTube動画やテキスト（会社説明のパワーポイント資料等）を掲載することができる。

一般社団法人みやぎ工業会 飯盛コーディネーター

今年卒業した石巻商業高、石巻工業高、県水産高、北高、桜坂高の5校の生徒のうち、管内企業には121社、204人が就職した。この121社には、小規模な事業者も含まれており、そのような事業者が動画撮影まで自社で実施するのはかなり大変。石巻管内企業の事情も考慮した上で、支援策を検討して欲しい。

石巻公共職業安定所

WEBによる高校生向けの情報発信については、動画だけでなく、文書のみ掲載もできるようにしている。しかし、小規模な事業者にはなかなか対応できない事情もあると思われるのでどのくらいの企業が応募してくるか心配でもある。

教育機関の新型コロナウイルス感染症の影響に関する情報について

■石巻北高校

- ・石巻北高校では現在、普通通り授業を開催している。今後、また休校となることがあって場合、オンライン授業の実施は難しい。しかし、先生の中には授業動画を流しているが、なかなか全ての先生が対応できていないというのが現状。
- ・通信環境も含めたオンライン対応が課題。

- ・感染対策については、マスク等の着用とアルコール消毒等、各校とも同じような状況で進めているのではないかと思う。

■石巻商業高校

- ・新型コロナウイルスの関係は多少なりとも影響があるという認識を持っている。
- ・昨年より企業側の来校者が少ないように感じており、会社の状況が分かりづらくなっている。
- ・会社の情報を動画で周知するような配信等を考えている企業もいるとのこと。
- ・採用についてはオンライン面接を実施する企業もあるようだ。
- ・今年度は求人の件数が読めないことが課題。昨年度と同程度あればいいのだが、宿泊業、サービス業及び飲食業が少ないのではないかと危惧している。本校の生徒では、数%が当該業種を希望しており、製造業等別業種に希望を変更するのではないかと考えている。
- ・新型コロナウイルスの影響で今年度は採用試験が1ヶ月遅れるとのこと。その影響で就職が決まらず卒業してしまう生徒がいるのではないかと心配している。学校側でもきちんと就職できるようにサポートしていきたい。

■宮城県水産高校

- ・本校は6月より学校再開。
- ・感染拡大の対策は、各校同様かと思う。
- ・学習旅行（修学旅行）を現在は見合わせしている。
- ・インターンシップについても、企業側に配慮し、見合わせしている。
- ・求人関係については、就職試験がオンラインの企業もあり、生徒が対応できるか心配している。ネット環境が整っていない生徒もいるのでどのようにフォローしていくかが課題。

■石巻専修大学

- ・本学は、新型コロナウイルス感染防止のため、4月8日から休校。5月11日からオンライン授業をしている。
- ・新型コロナウイルス感染症流行の影響で4年生以上の296人が就職活動に支障を来している。
- ・3月に開催予定だった合同企業説明会が中止、その他就職情報会社の企業説明会も軒並み中止となり、学生と企業の出会いの場が失われている。
- ・こうした状況から4月の末から5月初旬にかけて4年生以上の学生に対して、就職活動状況調査を行ったところ、286人から回答があり（回答率96.5%）、感染症の不安から、就職活動を自粛している学生が47.6%もいることがわかった。そのため、電話、メール等でのサポートを実施している。
- ・今年からウェブ会議システム（ズーム）を使用して、3年生向け進路ガイダンス、4年生に対しては就活スタートセミナーという形で実施している。また、今年から学生支援コーディネーターを設置して学生の公務員試験資格取得のサポートに力を入れている。
- ・以上のように本学は、学生の支援をWEB活用により実施しているところである。

民間の新型コロナウイルス感染症の影響に関する情報について

■石巻商工会議所

- ・当所は高校生、大学生のインターンシップ事業のお手伝いをしているが、今年度は中止となった。来年度は、秋以降に実施したいと考えている。
- ・今年3月に中小企業ガイドブックを作成し、高校に配布し活用してもらっている。
- ・就職関係の検定試験（簿記等）が全国的に中止となっている。

■東松島市商工会

現状

- ・新型コロナウイルスの影響に関する企業へのアンケート調査を実施。44.6%の回答。
- ・3月末時点で影響出ている企業が回答企業の52%となる159社。宿泊業ではこの時点で100%影響が出ており、飲食業については83%となっていた。
- ・3月と4月に1回、東松島市、県、ハローワーク及び地域金融機関等と情報連絡会議を開催。地域の経済状況、また、相談状況について情報共有した。この会議の中で金融機関から、先行きが見えない状況のため、借りたところで返すあてがなく、資金の調達・借入を躊躇している企業が多数あったと報告があった。
- ・5月末現在で、コロナウイルス関連による廃業の情報は無い。
- ・新型コロナウイルスの影響により、新規雇用を見合わせているという企業も何社かあるようだ。
- ・一方で小売業や製造業の中には、新型コロナウイルスの影響により受注が増加した企業があるようだ。しかし、休校の影響で従業員が仕事に来られず、人手不足になっているとのこと。
- ・夜の町関連の業種については例年の50%に満たない売上となっている。
- ・宿泊業においては、6月に入って日帰り利用が若干戻ってきて、50%近くまで回復してきている。しかし、宿泊については中長期の滞在を除くと従前の2割程度の売上と7、8月の予約も2、3組程度となっている。
- ・企業の新型コロナウイルス対策の取組として、3密を避けるために従業員に車通勤を指示し、通勤手当を支給している会社がある。

課題

- ・新型コロナウイルスの影響が続くことによる経営意欲の低下が懸念される。
- ・給付金の対応だけでなく、早急に地域経済を活性化させる取組をしていかないと事業の継続と雇用の維持が難しい状況となる。

行政機関（市・県）の新型コロナウイルス感染症の影響に関する情報について

■石巻市産業部商工課

- ・市としては、新型コロナウイルスの対策として企業支援策を重点的に行っている。主に経

営持続の助成をしている。市独自の取組としては、雇用調整助成金利用促進のため社会保険労務士による申請書類作成費用助成、店舗賃料補助（国の家賃補助対象外事業者向け）、失業者対策として学卒者の内定取消しや離職者を市の会計年度職員として雇用している（6月から1人採用）。

- ・石巻公共職業安定所と連携した合同企業説明会、企業見学バスツアーについて今年度は見合わせている。

■東松島市商工観光課

- ・当市は雇用の確保を重点施策として展開しており、企業誘致を進めている。
- ・規模拡大している企業については、従業員の募集をしており、優秀な人材を確保したい。
- ・経済対策については多くの業種に行き渡るような形で支援を進めており、二次補正があれば更に新たな対策を講じていきたい。

■女川町産業振興課

現状

- ・新型コロナウイルス感染症におけるアンケート調査を女川町商工会と共同で行った。この結果、会員の6割から回答があった。主な内容としては、4月の前年同月との売上比較で約4割が50%以上の減少。約3割が30%程度の減少。残りの3割弱が変わりなし、もしくは、売上増加という回答を受けた。そのほか従業員削減状況として、9割が削減しないという回答だった。しかし、1割程度が削減予定という回答となった。
- ・雇用調整助成金の活用状況については、2割弱が活用又は活用予定で2割強が検討中、残りの6割が活用しないという回答状況。

課題

- ・業種により状況は様々。求める支援としては、売上げ減少、雇用維持、家賃・光熱費などの事業経費、感染症予防対策等が必要。対策としては、第1弾として新型コロナウイルス感染症に伴う休業要請に対する協力金を独自に対象拡大している。第2段としては、住民への特別定額給付金1人2万円上乗せをしている。第3段は昨日予算が成立した女川町産業維持支援金の交付である。
- ・人材定着に関連する取組としては、昨年石巻商業高校の協力を受け、事業者の放課後説明会を開催した。その際に求人をする側のプレゼン方法や求人票の記載の方法が課題となっていたため、昨年末から石巻商業高校の放課後説明会に参加した事業所を中心に経済産業省の人材育成セミナーを活用して、セミナーを数回開催した。3月分の開催から新型コロナウイルスの影響で中止になってしまった。状況を見ながら再開を検討したい。

■宮城県東部地方振興事務所

- ・県庁各課や報道を通じて最新の情報を入手しているが、石巻管内の地域の実情についてはなかなか掴みかねている。当事務所でも特定の事業者に取り組み調査をしているものの、当該企業の状況がその業界全てを反映している訳ではないことや各種支援事業について当事務所が受付機関ではないので地域の傾向を掴みづらいところである。

- ・新型コロナウイルスの影響に関する学校側の対応状況（授業の進め方、部活動、就職支援等）や内定取消し者の有無、新規採用を取りやめている企業の有無も掴みかねている。
- ・企業訪問も5月までできない状況で情報収集がうまくできていない。
- ・当事務所では、経済回復支援策立案タスクフォースを立ち上げ、各部横断的に新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の活動回復支援を予定。まずはできるところから始めており、地場産品の店内斡旋販売、地元飲食店の昼食デリバリー、隣県での物産関係を検討している。
- ・産業人材の定着としては、緊急的な支援として新型コロナウイルスの影響で内定取消しとなった石巻専修大学の学生がいた場合、個別支援をしながら地元就職に結びつけられる取組を実施していきたいと考えている。そこで、実際に内定取消しとなった学生がいるのか、また各事業所でどのような求人を出しているのか掴みかねていたため、当会議で皆様の情報や意見をいただきながら、一緒に対策を練っていききたいと考えている。

（3）意見交換

①新型コロナウイルス感染症の影響に関する今後の対策について

■事務局

今回説明のあった内容において、学生と企業の接触機会減少やオンライン対応が課題として挙げられていた。

今から意見交換で、新型コロナウイルスの影響に配慮した就職支援をしていく中で支障になっているところを認識してアイデアを出し合いながら前に進めないかと考えている。

まずはこの場で出席者が認識を共有し、学生と企業の接触機会の減少に対して課題を出しながら解決について考えたい。

■桜坂高校

新型コロナウイルスの影響として、内定取消しがどのくらいいるのか県でも掴みかねているところとのことだったので各高校から分かる範囲で良いので内定取消しが何人いて再就職できたかどうか教えて欲しい。

■高校教育課

取りまとめ機関である当課から説明したい。5月末現在、新型コロナウイルス感染症流行の影響による内定取消し又は解雇については、県内1社（仙台市）2人いた。関東及び関西地方で就職決まっていた若干名の生徒が未だに待機となっているとのこと。

■桜坂高校

当校では、1名解雇があったが一昨日、再就職が決まっている。

■事務局

その他の高校で内定取消し又は解雇について最新の情報があるか。
（高校からは特に新たな内定取消し・解雇に関する情報は無かった）

■石巻専修大学

3月卒業生で内定取消しはない。今年度は企業側で採用活動を休止していたため、学生の就職活動も止まっていた。しかし順次、企業側がオンライン等で採用活動を再開してきている。

■事務局

内定取消しや解雇等については、石巻管内で特に大きな問題とはなっていないことがわかった。しかし、来年の卒業生については、スケジュールの遅れも含めて影響はあるようだ。むしろ、日を追うごとに弊害が出てくるのではないだろうか。そのため、その都度どのような支援をしていくか考えていく必要がある。

この会議も1回限りではなく、必要に応じて開催していく。参集機関からも議題があれば開催について要望して欲しい。

その他、意見聴取したいこととして学生と企業の接触機会減少への対応の必要性、各学校でオンライン企業説明会を開催する際にネット環境を含め、実施可能か各校に確認したい。

■西塚連携コーディネーター

現在、企業側は学校に対して通常の採用活動をしてよいのか気にしている。学校も企業側に対してどう接触してよいかわからない状態。県外大手企業はオンライン対応で採用活動を実施するようだが、石巻管内の小さい企業は例年どおりに実施したいと思っており、どうしたらよいか迷っている。生徒・保護者も就職について心配している状況である。

■一般社団法人みやぎ工業会 飯盛コーディネーター

石巻専修大学で実施しているオンライン企業説明会はどのくらい管内企業が参加しているのか教えて欲しい。

■石巻専修大学

本校では平日の午前午後1社ずつ、ズームを活用したオンライン説明会を行っている。40社ほど参加しており、学生の申込みが増えてきている。6月7月上旬まで予定が入っているが管内は1社のみ。8月29日まで説明会の実施を予定している。

オンラインによる説明会は初めてで試行錯誤だったが、大学まで学生、企業が来なくても良いこともあり、関東まで出かけるような学生も交通費等費用がかからなくてよい。

w e b会議システムの運用方法を管内企業に知ってもらう機会が必要。また、学生側もオンライン面接について研修すべき。企業によっては最終面接までw e bのところもあり、うまくできている学生は内定をもらっている。

高校生でもw e b説明会は難しくないと思う。学生側の方がオンライン環境に慣れている。ただし、通信環境は家庭により異なるので配慮が必要。いずれにしても学生と企業を繋ぐw e b環境は必要と考えている。

■事務局

オンライン企業説明会を県で実施する場合、学校側が参加できる環境にあるか確認したい。

■石巻商業高校

企業からもオンライン対応できるか確認あった。当校では対応できると回答している。わざわざ企業に行かなくてもできるので実施するのは良い。

■石巻北高校

w e b回線が整っていないためできない。

■石巻北高校飯野川校

教員の i P a dを使えばできるのではないかと考えている。

■宮城県水産高校

回線がセキュリティ上、使えるかわからない。仮に使えるとすれば、生徒が密にならないようにすればできるのかなと思う。やり方の工夫で対処できる。

■石巻工業高校

実施は難しい。企業によっては希望しているところもあるが。保護者の同意や手続き上の縛りがある。

■石巻西高校

当校は休校期間中オンライン授業を実施。3年生全員がズームでホームルームをしている。就職希望者は8人しかいないので、対応することは可能。生徒はズームを使っているので問題ないように思える。

■東松島高校

当校はWi-fi環境は整っている。人数が少ないので実施できる。

■桜坂高校

教員のパソコンにズームをいれており、スタジオ（空き部屋を活用）を使ってオンライン対応している。また、ウェブ面接の研修や教員向けのオンライン対応研修を予定。当校は生徒用の回線、教員の回線2回線ある。

■女川高等学園

支援学校なのでそもそも個別対応で1人1台のパソコンがあり、回線もある。実施は可能。教員の支援は必要だが。

■石巻高等技術専門校

オンライン授業等に対応できるかは現在検討中。

■事務局

学校によってそれぞれ環境が異なることが分かった。しかしオンライン対応が今の状況で外せないという認識を持った。今後、オンライン企業説明会開催を含め、どういうことができるか検討したい。

■石巻公共職業安定所

当所で例年10月に予定している合同企業面接会を開催する場合、ソーシャルディスタンスを確保するため、参加企業数を絞る等対応しながら実施する必要がある。学校側は、開催の場合、参加してもらえるか確認したい。

■桜坂高校

そもそも今年度の説明会や面接会は県教育庁を通して実施できないとの説明があったのだが。

■石巻公共職業安定所

当所としては教員と企業の懇談会だけの実施を考えていた。しかし、参加企業数が多くなってしまうため、やはり中止せざるを得なかった。11月に予定している合同企業面接会は、今後の状況がわからないので検討している。

■西塚連携コーディネーター

例年の合同企業面接会は貴重だったが、どのくらい就職の決まらない生徒が10月に残っているかわからない。また、面接会参加に当たっては本人や保護者の同意も必要であろう。事前に参加企業わかっている上で、生徒がどうしても行きたいという場合は実施すべき。

■石巻公共職業安定所

感染防止対策を講じた上で、予約制の面接会とすることも検討したい。

■桜坂高校

新型コロナウイルス感染症第二波の有無でも考える必要があるし、正直なところまだわからない。

■事務局

現状で判断するのは難しいので次回会議等で石巻公共職業安定所から議題として提案いただければ話し合うこととしたい。

②今年度の産業人材育成に関する取組について

■事務局

今回の趣旨として新型コロナウイルス対策とは別に石巻地域産業の維持継続のため、人口減少対策を考えていく必要がある。そこで人材育成関係について、どのようなことを皆様でやっているのか確認するため、R2年度産業人材育成関係事業実施予定について取りまとめた。今回は、情報共有としてまとめた。確認できた中では、各機関で行っているインターンシップを石巻地域産業人材育成プラットフォームで一本化してできれば効率的であるため、検討の余地があるのではないかと考えている。

今後、将来的な部分も意見交換しながら、この場を作戦会議の場にしていきたい。今後もコロナや将来的な人材育成について議論していきながら取組を進めていきたい。御協力お願いしたい。

※特に出席者からは意見はなかった。

(4) 閉会

今後、当会議は管内の諸課題に対応していく実践的な場としていきたい。本日意見のあった企業と学生を繋ぐオンライン関係の取組についても検討していき、第2回の開催で提案をしたい。日程については今後調整した上で決めたい。

長時間ありがとうございました。

以上